

平成29年度 学校教育に関するアンケート結果と今後の方策

本年度も残りわずかとなりました。先日はご多用の中にもかかわらず、アンケート調査にご協力いただきましてありがとうございます。

ご回答いただきましたアンケート結果につきまして、先日、学校関係者評価（外部委員さんによる評価）を実施いたしました。その際にいただいたご意見はおおよそ次のような内容で、これらも含めて今後の方策をお伝えさせていただきます。

皆様方には、今後とも本校教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- <学校関係者評価でいただいた主な意見>-----
- ・ 肯定的な意見が90%以上の項目が多く、そのほかにも80%を超えている項目が多い。結果としては問題はないのではないか。
 - ・ 地域ボランティアへのお礼の会に参加したが、どの学年も集中して話が聞けていた。また、あいさつの声が大きく、気持ちが良い。
 - ・ 勇み屋台の練習に4年生が参加して、一生懸命練習していた。休憩時間にもお互いに教え合って仲良く練習していて、雰囲気がよかった。
 - ・ 下校の様子を見ていると、学年が違っても仲良くしている姿が見られる。
 - ・ 朝、交通立哨していると、初めのうちはあいさつが帰ってこないことがあったが、何回か声かけを続けるとあいさつが返ってくるようになった。
 - ・ 保護者、児童へのアンケートを行い、学校としてあるべき姿を考えているのは、よい取り組みだと思う。

アンケート結果などから考えられる課題	改善方策
○ 「学校が楽しい」と感じていない児童の割合をなくす。	○ 小さな変化も見逃さない、すぐに相談ができる人間関係を築き、児童も保護者も安心して通える学校づくりをしていく。
○ 楽しく学ぶために「わかる」授業に努め、学力の向上を図る。	○ 基礎基本の習得を大切にするとともに、児童が互いに学び合い、深め合う授業に取り組む。また、個に応じた指導を充実する。
○ 進んで勉強をする習慣を家庭でも定着させる。	○ 児童が家庭学習のめあてをもち、積極的に家庭学習に取り組めるようにする。そのために、内容や方法について児童への支援を行いながら、「家庭学習の手引き」等を活用するなどして家庭との連携を図り、学習習慣の確立や学習時間の増加を図る。
○ 早寝早起きなどの基本的生活習慣の確立をする必要がある。	○ 学年便りや保健便りで家庭に基本的生活習慣の大切さを知らせ、学校と家庭とが連絡を取り合って指導する取組を継続して行う。